

子ども・子育て支援事業計画 評価基準表

評価基準は A～C の3段階評価とする。

■第4章 評価基準

第4章においては、新たに設定する重点事業(6事業)の31年度目標に対して、どのような進捗であったか年度ごとに確認し、下記の評価基準 A～C に当てはめて評価する。

A 評価…31年度目標を達成した場合

B 評価…31年度目標は達成していないが、目標に対して推進が認められる場合

C 評価…31年度目標を達成しておらず、目標に対して推進が認められない場合 等

■第5章 評価基準

第5章においては、計画に記載している各年度の目標値・推計値が提供できたかどうか年度ごとに確認し、下記の評価基準 A～C に当てはめて評価する。

A 評価…各年度の目標を達成した場合

B 評価…各年度の目標は達成していないが、目標に対して推進が認められる場合

C 評価…各年度の目標を達成しておらず、目標に対して推進が認められない場合 等

■補 足

評価にあたっては、原則として上記の基準に基づき、目標値を達成できたかどうかを評価する。ただし、目標値と実際のニーズ量に乖離がある場合を想定し、毎年各事業においてPDCAを行いながら、評価時点で実態に合った評価を行う。

実態に合った評価(例)

| | 目標値 | 実際のニーズ量 | 実際の提供量(実績値) | 評価 |
|-----------------------------------|-------------------|-------------------|---|----|
| 1 | 642人 | 650人 (目標値を上回る) | <div style="text-align: center;">650人</div> <div style="text-align: center;"> 目標値642人を満たした↗ 実際のニーズ量650人を満たした↗ </div> | A |
| ※提供量が目標値も実際のニーズ量も満たしている。 | | | | |
| 2 | | | <div style="text-align: center;">645人</div> <div style="text-align: center;"> 目標値642人を満たした↗ 実際のニーズ量650人を満たさなかった↘ </div> | B |
| ※提供量が目標値を満たしているが、実際のニーズ量を満たしていない。 | | | | |
| 3 | | | <div style="text-align: center;">630人</div> <div style="text-align: center;"> 目標値642人を満たさなかった↘ 実際のニーズ量650人を満たさなかった↘ </div> | C |
| ※提供量が目標値も実際のニーズ量も満たしていない。 | | | | |
| 4 | 630人 (目標値を下回る) | 630人 (目標値を下回る) | <div style="text-align: center;">650人</div> <div style="text-align: center;"> 目標値642人を満たした↗ 実際のニーズ量630人を満たした↗ </div> | A |
| ※提供量が目標値も実際のニーズ量も満たしている。 | | | | |
| 5 | | | <div style="text-align: center;">635人</div> <div style="text-align: center;"> 目標値642人を満たさなかった↘ 実際のニーズ量630人を満たした↗ </div> | B |
| ※提供量が実際のニーズ量を満たしているが、目標値を満たしていない。 | | | | |
| 6 | | | <div style="text-align: center;">620人</div> <div style="text-align: center;"> 目標値642人を満たさなかった↘ 実際のニーズ量630人を満たさなかった↘ </div> | C |
| ※提供量が目標値も実際のニーズ量も満たしていない。 | | | | |

※上記は一例であり、事業によっては実際のニーズ量を把握できないものもあるため、事業ごとに評価を判断いただくことになります。

※教育・保育の部分の評価につきましては、別の評価基準表をご覧ください。